

ジョークサロン5月度例会

つぶやき都々逸

佐藤俊一さん kitami-yosuke@1041sato が #ほぼ日刊都々逸 のタグのもとにツイートしたものです。阿部が5月のツイートから拾いました。

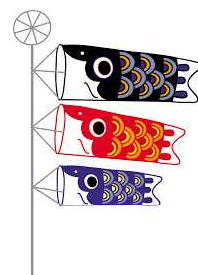
- 1 プーチンに いわんといかん トルストイだって 「いわんのバカ」といってるよ

ロシアの文豪トルストイの『イワンの馬鹿』は、バカ（愚直）だけれど、それゆえに最後は悪魔にも負けないという、ものすごく深いお話。(；^_^A

- 2 四角いスイカも ある世の中よ あんたの誠実（まこと）も きっとある

◎お題「端午の節句」

- 3 風が泳ぐや 五月の空に 花よりたんごの こいのぼり
- 4 胸を躍らせ 五月のコイは 気まぐれ風に 身をまかせ
- 5 気まぐれな 風になびいて 胸おどらせる 五月のコイは うわの空
- 6 気まぐれな 風来坊に 胸おどらせる 五月の恋は うわの空
- 7 風まかせ あチラこチラに 目移りしても 身の丈ほどの こいのぼり
- 8 背いくらべ ふれて楽しや 柱の傷に ふれたくないのは スネの傷
- 9 うちの亭主は どこぞのコイに のぼせあがって 別の空
- 10 政党の 柱の傷は 命取りだよ 国会どんぐり 背くらべ
だんごの節句に票くらべ (；^_^A
- 11 固形が気体に 昇華の化学 政治は期待が こっけい化
固形から直に気体になるのは樟脳とかドライアイス。(；^_^A
- 12 人気稼業にゃ こいのぼりより うなぎのぼりが よく似合う
- 13 芸能界 人気の指標は コイよりウナギ 天にのぼるを 見たいとき
- 14 芸能人 コイを捨てても 人気の指標 ウナギのぼりが 欲しいとき
- 15 ふいに風止み うなだれしよげる 沈みがちです 恋のぼり
- 16 コイの噂を 吹き流しつつ 回るからから 口車
正しくは矢車だね。(；^_^A
- 17 真っ向風を 浮力に換えて 五月のコイは 空に舞う



- 18 五月の恋に 追い風いらぬ 真っ向風受け 舞い上がる
19 さつき晴れ 一点の雲も なき青空に ついた嘘まで さつきばれ
バレたか。(;^_^A
20 陽気ぼかぼか ぼかしちゃったよ 晴天はことを 仕損じる

◎お題「母」

- 21 母の背を 追ってすがった 幼きあの日 いまはわが背に 老いすぎる
22 呆け進み 施設の母は コロナもロシアも 無縁にぼんやり 穏やかに
23 親が鷹でも わたしは鷹よ タカをくくって 飛ぶわいな
24 親が鷹でも わたしは鷹よ タカみの見物 させたげる
25 母老いて 記憶の住人 消えゆくなかで からくも残る 我はまだ
コロナ禍で施設に面会に行くのも制限が厳しいなか、まだ記憶から消えていないことを知って
ほっと致します。(;^_^A
26 こうしてこうすりゃ こう（孝）なるものと 知ったときには 親はなし

- 27 風に波立ち 垣より溢れる 白き卵の花 夏は来ぬ
28 春の名残の 黄の色褪せて からし菜の花 散りとてちん



- 29 薄暮どき 板わさ焼き海苔 お銚子二本 通を気取って そば屋酒
黄昏どきには少し間がある時刻、ふらりと行きつけの蕎麦屋に足を運び、ちょっとした肴で酒を嗜み、「せいろ」を手繰って仕上げをする。それが蕎麦屋酒の粋な楽しみです。(;^_^A
30 そばは好きでも 食えないあんたの そばづえ食うのは 願い下げ
蕎麦といえば「信州信濃の新そばよりもあたしゃあなたのそばがよい」という有名なひと節がありますが——これは鳥取県の「踏鞠唄（たたらうた）」のひと節なんだそうで。それから、広島県の草刈唄には「酒の肴にやうどんかさそばかわたしゃあなたのそばが好き」というひと節もあるのですね。
31 肩すかし ワリやそばづえ ひじてつなんぞ 食わず嫌いの ままでいい

- 32 おまえアヤメか カキツバタなの 艶姿競って 花ショウブ
「いずれアヤメかカキツバタ」に、同じアヤメ科のハナショウブが加わると、もう三つ巴の混乱
33 目にもアヤメな カキツバタとも 見分けがつかぬ ハナショウブ
34 ショウブのアヤめは 判定微妙 困って頭を カキツバタ

◎お題「旅」

- 35 日本ならでは 名物駅弁 景色も肴の 電車旅

冷めても美味しい日本のコメに土地の名産がプラスして生まれた駅弁。外国には駅弁に類するものはないそうです。フランスだったかな、駅構内に日本の駅弁コーナーができたとか聞いた気が。(；^_^A

36 恥はかき捨て 昔の旅よ 今は隠す手 ほしい恥

37 旅先で 土地の土産を あれこれ買って 皆に配るの 日本だけ

旅土産をご近所に買うのは、じつは日本人ならではの習慣なんだそうですよ

38 四角い空の 井戸にかえるか コウカイしては 泣くばかり

39 井の蛙 海でコウカイ かえるもならず おたまじゃくしの 夢を見た

40 大海見たさに 井戸出た蛙 かえるにかえれず 大こうかい

井戸を出たのにイドーばかりでもうあきた!?(；^_^A

41 井戸の蛙にや まあるい月も ちゃんとシカク（視覚）に 見えたとき

田舎者という言葉は、もとは「井の中の者」だったらし。世間知らずのクセにわかったふうなことをいう者を江戸っ子が馬鹿にして”井中者”と言ったんだそうで。これは江戸言葉の研究者でもある嘶家の春風亭一朝師匠に教わりました。(^^)

42 田んぼの蛙が 女郎買いに出かけ きょうもカワズに かえるとき

5代目古今亭志ん生や長男の10代目金原亭馬生の嘶のマクラに、そんな冷やかしの1シーンがありますね。(；^_^A

「井の中の蛙大海を知らず」という有名な一言がありますが、その後には「されど空の深さを知る」と続くんだそうです。もっとも、それは荘子の時代ではなく、日本でつけ加えられた言葉のようなのですが、ちょっと哲学的な響きがあって、イイですね。(^^)

43 旅の宿 布団並べて ひとつっだけの 乱れ嬉しい 仲のよさ

並べた布団 ひとつっだけの 乱れ恥ずかし 宿の朝

44 長旅の つばさ休める 中継ぎの宿 渡りに島は 生命線

——「島」あるいは「嶋」という字の成り立ちは、渡りの「鳥」が海上に浮かぶ「山」に下りて休むという意味から生まれた、彼らの旅の宿なのですね。(^^)

45 遠くふとんを 離して眠る イビキ回避の 男旅

仕事の宿泊先が旅館だと、カメラマン氏と同じ部屋になるので、可能な限り互いに布団を離して眠るわけですが、朝起きたら、編集担当がいない。探したら、イビキで眠れず、駐車場の車のなかで寝ていた。(^^)

46 愛はうえ（飢え）です だから愛した 愛に上下は ないものを

47 愛に上下の 差別はないに 愛したばかりに 愛にうえ

48 こいといわれて 行く手はけわし あいたい思いは やまやまよ

49 あいにこい あいたい思いは やまやまなれど こいの行く手にやうその川

50 笑い上戸よ 菓子屋の娘 見るもの聞くもの おかしィや～

